

ひいらぎ保育園災害対策（令和7年度版）

1. 震災対策

地震発生時対応

☆ 地震振動期間対応

◎地震発生

●園内での対応

- ・ こども達を落下物の危険性の低い場所（保育室中央等）に集め、揺れが収まるのを待つ。
- ・ 園内放送で危険回避指示をする。
- ・ 2．4才児室ではできるだけ保育室園庭側で揺れが収まるのを待つ。
- ・ 天井や照明器具が落下することもあるので注意する。

●園外保育での対応

- ・ 揺れを感じたらすぐにこども達を落下物や倒壊の危険が少ない場所に集め、揺れが収まるのを待つ。
- ・ 道路を歩いているときは自動車が暴走してくる可能性があるので注意する。
- ・ 揺れが収まった後、すぐに保育園に電話連絡をし、指示を仰ぐ。
- ・ 連絡がとれない場合は速やかに保育園に戻る。
- ・ 保育園に誰もいない場合は園外避難場所に向かう。
- ・ 保育園に戻れない場合は公園等、近くの安全な場所に避難する。
- ・ 保育園に戻るときは落下物や倒壊に注意する。

●調理室内の対応

- ・ 使用中の火を消す。
- ・ 使用中の火器で火傷等をしないよう火器から離れて安全を確保する。
- ・ 調理室から4才児室へ避難する。

☆ 園内避難

- ・ 揺れが収まった後、園内放送で避難指示をする。ホールに全員集まる。
- ・ ガラス等の破損がある場合は避難シューズを使用する。
- ・ 園周囲の状況を視察する。
- ・ ラジオ等で地震の状況を確認する。
- ・ 調理員は水道が出る場合はシンク・鍋・釜等に水を溜めておく。

☆ 待機

- ・ 地震情報、周囲の状況等を確認できるまで全員ホールで待機する。
- ・ 確認後、保育室での待機か園外へ避難するかを判断する。

地震発生後対応

☆ 園外避難

●田端公園または団地前広場へ避難

- ・園舎内で待機することが危険と判断した場合は田端公園または都営西台二丁目アパート前広場へ避難する。
- ・防災頭巾を着用する。職員はヘルメットまたは防災頭巾を着用する。
- ・避難シューズから自分の靴に履き替える余裕があるときは履き替える。
- ・周囲の状況を確認し、園へ戻るかを判断する。

●赤塚公園へ避難

- ・田端公園への避難が危険と判断した場合は広域避難場所である赤塚公園辻山地区へ避難する。
- ・避難時には高速道路の損傷を考慮しながら避難する。
注：赤塚公園辻山地区＝通称ハンメルン公園（徳丸7丁目4番）

☆ 継続避難

●園舎に避難

- ・園舎の損傷が少なく、周囲の状況が安全と判断した場合は保護者の迎えまで園舎で待機する。

●園外に避難

- ・園舎に帰ることが危険と判断した場合は園外避難場所（田端公園または赤塚公園辻山地区）で保護者の迎えまで待機する。
- ・田端公園または赤塚公園が不適切と判断した場合は西台中学校または志村第五小学校に避難する。
- ・園外避難場所で待機する場合は保育園玄関に避難場所を掲示するとともにチャイルドケアウェブ、災害伝言ダイヤル、ホームページを利用して周知をおこなう。

☆ 情報収集

- ・震災後はラジオの電源を常にオンにしておく。
- ・事務所には必ず1名以上が待機するようにし、防災無線の放送に注意する。
- ・近隣を見回り、近隣の被害状況を把握する。

☆ 保護者への連絡

- ・チャイルドケアウェブでの一斉送信で連絡を行う。
- ・保育園玄関に連絡事項を掲示します。
- ・災害伝言ダイヤルを活用し、被害状況と避難場所、引き渡し場所をお知らせします。（ダイヤル171・メッセージに沿って暗証番号を使用せずに録音する）
- ・ホームページのお知らせに園の被害状況等を掲示します。

☆ 児童引き渡しまでの対応

●園舎で待機

- ・各クラス保育室で迎えを待つ。
- ・迎えが来ない場合を想定し、夕食、就寝の準備をする。

●園外で待機

- ・園外避難場所まで迎えを待つ。
- ・可能であれば園から下記の物をリヤカー等で避難場所に運ぶ。
 - 布団 ○毛布 ○飲料水 ○食料 ○医薬品
 - ランタン ○懐中電灯 ○ラジオ ○テント

●児童引き渡しについての注意事項

- ・保護者のお迎えが来ても園外に危険があると判断したときは保育園に留まることを勧める。

☆ 職員体制

- ・被災後、避難場所が決まるまでは全職員で子ども達を避難・保護する。
- ・避難場所が決まり落ち着いた後、子どもを持つ職員は子どもを迎えに行く。
- ・迎えが進み、子どもの人数が少なくなってきたら順次退勤する。
- ・交通機関・道路状況によっては保育園に宿泊する。

被災・避難生活期間対応

☆ 食料

- ・米は平常時にも常に30kgの余裕を持って保有する。
- ・米の残量を確認する。
- ・調理室の食材残量を確認する。

☆ 飲料水

- ・マンション受水槽からポリタンクに水をくむ。
- ・防災倉庫にある保存水の確認をおこなう。
- ・屋上にビニールシートを張り、プールに雨水を溜める。

☆ 調理（ガス未復旧時）

- ・調理室での加熱調理はできないので園庭にテントを張って加熱調理場とする。
- ・食材の裁断は調理室でおこなう。
- ・カセットガスボンベを20本以上常備する。
- ・木炭を30kg以上常備する。
- ・被災時には赤塚公園等で薪を調達する。

☆ 停電時電灯

- ・ランタン・懐中電灯・電池・燃料を防災倉庫から出し、事務所に集める。
- ・発電機を防災倉庫から園庭に出す。
- ・調理員は冷凍庫の食材をクーラーボックスに移す。
- ・調理員は冷蔵庫内の食材をクーラーボックスに移し、製氷器より氷を入れる。

☆ 寝具

- ・避難所になった場合は児童用寝具・寝袋・保温シート等を提供する。

☆ 保温対策（冬季被災時）

- ・寝具が足りない場合は新聞紙を使用し暖を取る。
- ・園庭にて薪で湯を沸かし、ペットボトル懐炉を活用する。

平常時対策

☆ 災害時避難児童名簿

- ・災害時避難・引き渡し名簿を作成し、事務所に保管する。
- ・避難時には必ず持ち出し引き渡しの際にチェックをおこなう。

☆ 災害時お迎え者の登録

- ・災害時に保護者以外の方が迎えにくる場合事前に登録していただきます。
- ・両親以外6名まで登録をお願いします。
- ・災害時には保護者から連絡がなくても登録者と確認できれば児童をお引き渡します。

☆ 各クラスでの対応

- ・担任は各クラスで園内で被災した場合に避難する際の役割分担、避難経路等を確認し合っておく。
- ・非常時持ち出し袋は散歩用リュックとし、週1回は中身のチェックを行う。
- ・3才児クラスについては避難訓練時に担任判断で避難用スベリ台を使う。
- ・園外保育における災害時及びケガ人が出た時の対応について検討しておく。
- ・消防署への通報の練習をしておく。

☆ 消化器の位置確認

事務所・調理室・ボイラー室・配膳室・0才児室に設置

一時帰宅抑制

- ・震災により公共交通機関が運行を停止し、当分の間復旧の見通しが無い場合は、帰宅困難者の発生による混乱を防止するため、職員は「むやみに移動を開始しない」
- ・震災時に職員の安全を確保するため、職員は1階ホールで待機する。
- ・職員の徒歩による帰宅経路を把握しておく。

2. 火災対策

火災発生時対応

- ・非常ベルが作動したら非常通報装置の異常個所を確認し、出火場所を確認する。
- ・出火場所を確認したら、園内放送で火災発生と出火場所を知らせる。
- ・副園長又は事務員は消防署（119番）へ通報する。
- ・初期消火隊は消火器をもって出火場所へ行き、初期消火作業を行う。

- ・他の職員は児童を園庭に避難させる。
- ・火災が発生した時は迅速な避難を最優先とする。

平常時火災防止

☆ 防災組織

- ・火災予防組織を編成し火災予防に努める。
- ・自衛消防組織を編成し火災発生時の役割分担を明確にするとともに被害を最小限にできるよう努める。
- ・防災組織分担を明確にし、防災に努める。

3. 気象災害対策

☆ 自治体より避難指示が発出された場合は原則として休園とする。

台風の東京直撃が予報された場合

- ・事前に強い台風が東京を直撃することが予報される場合はこども、保護者、職員の命を守るために保育園を休園とする。
- ・休園とする場合は保護者には決定後速やかにWEBのICTシステムで通知を行う。また、職員には緊急連絡網・SNS等で連絡を行う。
- ・直撃予報前日に園庭やベランダ、屋上にある物を室内に入れる。
- ・直撃予報前日にガラスが飛び散らないように養生テープをガラスに貼り付ける。
- ・職員は自宅待機とし、不要不急の外出は避ける。水害の危険がある地域に居住している場合は早めに避難所へ避難する。
- ・台風翌日は園舎園庭整備のため早めの出勤をする職員が必要となるが、状況に応じて園長が主任等と相談して判断して緊急連絡網・SNS等で連絡を行う。

台風の影響で強い暴風が予測される場合

- ・登園時に非常に強い暴風により登園することが危険と判断した場合にはWEBのICTシステムでその時間帯の登園自粛または登園停止を呼びかける。
- ・職員についても出勤することが危険と判断した場合は緊急メール及び職員ラインで出勤見合わせを伝える。
- ・登園停止や休園の判断は自治体や消防と連携をとり園長（又は副園長）が判断する。
- ・台風翌日は園舎園庭整備のため早めの出勤をする職員が必要となるが、状況に応じて園長が主任等と相談して判断して緊急連絡網・SNS等で連絡を行う。

台風や線状降水帯等の大雨で荒川の堤防決壊の危険が予測される場合

- ・前日までに記録的な雨により荒川の堤防決壊の危険があると判断した場合は保育園を休園とする。
- ・休園の判断は自治体や消防と連携をとり園長（又は副園長）が判断する。
- ・休園とする場合は保護者には決定後速やかにWEBのICTシステムで通知を行う。また、職員には緊急連絡網・SNS等で連絡を行う。
- ・ハザードマップでは上記の場合、当園は1階部分が浸水すると予想されるため、1階にある調理器具、保育用器具、事務用品、重要書類を2階に移動させる。
- ・職員は自宅待機とし、不要不急の外出は避ける。水害の危険がある地域に居住し

ている場合は早めに避難所へ避難する。

- ・被災翌日は園舎園庭整備のため早めの出勤をする職員が必要となるが、状況に応じて園長が主任等と相談して判断して緊急連絡網・SNS等で連絡を行う。

強い雷雨が発生した場合

- ・園外保育中の場合は雷の雷鳴を聞いたら速やかに帰園する。間に合わない場合は近くのマンション等、建物の中に避難し、園へ報告の連絡をする。
- ・登降園の際は保護者に対し無理せず保育園内で待機するよう要請する。
- ・停電する可能性もあるのでランタン（防災倉庫内）を用意する。

降雪による災害の場合

- ・不凍剤を常備しておく。
- ・激しい降雪（1m以上）が予想される場合は交通機関のマヒ等を考慮し休園する場合がある。
- ・休園の判断は自治体や消防と連携をとり園長（又は副園長）が判断する。
- ・休園とする場合は保護者には決定後速やかにWEBのICTシステムで通知を行う。また、職員には緊急連絡網・SNS等で連絡を行う。
- ・開園中に激しい降雪があり交通機関のマヒや帰り道での危険が予測される場合は保育園内に宿泊することもある。
- ・夜間に積雪があり早朝から保育園周辺の雪かきが必要な場合は近隣に居住する職員を動員する。前日中に園長が判断し動員する職員に連絡する。（5名程度）

竜巻の発生が予想される場合

- ・竜巻警報が出た場合、空模様と気温の変化を注意深く観察する。
- ・保育室の窓を閉め、カーテンを閉める。
- ・危険がないようであれば、職員1名は3階屋上で周囲の上空を観て竜巻や突風の恐れがないかを観察する。
- ・強風が吹いてきた場合はこども達をガラス窓から離して待機させる。できればひまわりぐみ・たんぽぽぐみ保育室・沐浴室に集まる。
- ・こども達には靴を履かせて待機させる。

災害時の連絡方法について

大きな災害に被災した場合、安否確認等で電話の通信が困難になることが予想されます。ひいらぎ保育園では被災状況や避難状況等を災害伝言ダイヤル・ホームページ・保育園玄関への掲示で対応いたします。災害時にはできる限りそれらを活用して情報収集していただきますようお願いいたします。

☆ 災害伝言ダイヤルでメッセージを聞くには

- ① 171をダイヤルする。(その後は案内に沿って操作します)
- ② ひいらぎ保育園からのメッセージは暗証番号は使用しません。
- ③ 伝言を聞きたいので「2」を押してください。
- ④ ひいらぎ保育園の電話番号(03-3937-2541)を市外局番から押してください。
- ⑤ プッシュ式電話を使用している場合は「1#」を押してください。ダイヤル式電話を使用している場合はそのまま待ってください。
- ⑥ ひいらぎ保育園からのメッセージが再生されます。

☆ ホームページの緊急連絡を見るには

- ① ひいらぎ保育園のホームページ内の「お知らせ」というクリックボタンをクリックして下さい。
- ② ホームページアドレスは下記のとおりです。<http://hiiragi-hoikuen.com>
- ③ 「お知らせ」で園の被害状況・負傷者の有無・避難場所等をお知らせいたします。

☆ 掲示

- ① 保育園園庭木戸及び西側職員玄関に避難場所を掲示します。

☆ 一斉メール

- ① 「チャイルドケアウェブ」で園の被害状況・負傷者の有無・避難場所等をお知らせいたします。

防災備蓄用品一覧

- ・水（プール貯蔵分）
- ・保存水・・・・・・・・・・650 ㍓
120 本(2030.7) 42 本(2028.6) 19 本(2027.4) 144 本（2031.8）
- ・非常食
わかめご飯 50 食（2026.11） スティックバームクーヘン 100 食（2026.9）
せんいのめぐみパン 50 食（2026.8） 紙コップパンバター30 食（2026.10.2）
紙コップパンチョコ 30 食（2026.9.29） 缶ベーカリー黒糖 24 食（2026.3）
缶ベーカリーオレンジ 24 食（2026.3） カレーピラフ 50 食（2030.1）
缶ベーカリー卵無し 24 食 4（2026.3） ハンバーグ 100 食（2028.10）
わかめご飯 50 食（2028.5） 五目御飯 50 食（2028.6）
ドライカレー50 食（2028.6） おでん 50 食（2029.8）
野菜ジュース 120 本（2028.7.21） カレー職人 150 食（2029.7）
カレーピラフ 50 食（2032.2） きのご飯 50 食（2029.4）
煮込みハンバーグ 50 食(2031.1) アレルギー食 3 日分セット×8 個(2030.9)
ライスクッキー48 箱 安心米ドライカレー50 食 米粉山菜うどん 30 食
ハイハイン 48 袋 野菜ジュース 270 本
- ・生理用品・・・・・・・・1080 枚
- ・炊き出し釜・・・・・・・・1 台
- ・炊き出し釜用灯油バーナー・・・1 台
- ・飯盒・・・・・・・・・・13 個
- ・カセットコンロ・・・・・・9 台（内 5 台は 2 階収納）
- ・ガスボンベ・・・・・・・・・・30 本（防災倉庫）6 本（2 階収納）
- ・木炭・・・・・・・・・・39 kg
- ・ブルーシート・・・・・・・・3 枚
- ・防寒保温シート・・・・・・100 枚
- ・防災頭巾・・・・・・・・・・児童人数分（1～5 才児：各才児室）
- ・防災頭巾・・・・・・・・・・82 個（予備分）
- ・ヘルメット・・・・・・・・20 個
- ・避難カー・・・・・・・・・・3 台（1 階） ベビーカー1 台（1 階）
- ・リヤカー・・・・・・・・・・1 台（1 階）
- ・ラジオ・・・・・・・・・・1 台
- ・ランタン（電池式）・・・16 個
- ・ランタン（燃料式）・・・1 個
- ・懐中電灯・・・・・・・・・・17 本
- ・乾電池（単 1）・・・・・・30 本
- ・乾電池（単 2）・・・・・・32 本
- ・乾電池（単 3）・・・・・・80 本
- ・乾電池（単 4）・・・・・・100 本
- ・発電機・・・・・・・・・・1 台
- ・燃料（ランタン用）・・・1.35 ㍓
- ・燃料（エンジン用）・・・無し
- ・簡易トイレ・・・・・・・・・・800 回分
- ・担架・・・・・・・・・・1 台
- ・レスキューセット・・・・1 式
- ・油圧ジャッキ・・・・・・・・1 台

- ・チェーンソー・・・・・・・・・・1台
- ・トランジスターメガホン・・1台（事務所）
- ・ハンドフリーメガホン・・・・1台
- ・毛布・・・・・・・・・・・・・・65枚
- ・ポリタンク・・・・・・・・・・8個（20ℓ×7、11ℓ×1）
- ・米・・・・・・・・・・・・・・30kg（調理室）
- ・紙おむつ・・・・・・・・・・約216枚
- ・紙オムツ・・・・・・・・・・1764枚
- ・使い捨てビニール手袋・・1000枚
- ・使い捨て哺乳瓶・・・・・・50個
- ・蚊取り線香・・・・・・・・・・100巻
- ・小型浄水器・・・・・・・・・・1台
- ・携帯充電器・・・・・・・・・・1台
- ・寝袋・・・・・・・・・・・・・・10袋
- ・ビニールヒモ・・・・・・・・・・3巻
- ・石油ストーブ・・・・・・・・・・1台
- ・ガソリン缶・・・・・・・・・・1個（20ℓ）
- ・断熱シルバーシート・・13枚
- ・軍手・・・・・・・・・・・・・・20組
- ・カセットストーブ・・・・・・2台
- ・液体ろうソク・・・・・・・・・・72個
- ・LEDライト・・・・・・・・・・6台
- ・UVテント・・・・・・・・・・1個
- ・焚き火セット・・・・・・・・・・1台
- ・固形燃料・・・・・・・・・・・・10個
- ・マグネシウム空気電池・・2個
- ・ポータブル発電機・・・・・・1台
- ・ソーラーパネル・・・・・・・・1台
- ・泊まり保育用品・・・・・・1式（シャンプー・殺虫剤・トイレクリーナー他）

令和 7年 5月現在